ドキュメンタリー原稿（著作権　ムラーラミュージックオフィス）

　　ドキュメンタリー原稿　　　「小さな宇宙」

　１９６９年７月１６日、人類史上初の有人月面着陸を成し遂げた。

人間は皆、常に面白い発想をしている。そして、新しいことを成し遂げようと試みている。今現状、全世界には約７３億人の人間が存在する。そして、そのうちの何人かは１分１秒途切れることなく、何かを想像し、空想し、そして、実行に移していくのである。

　「経験値」。私は、この経験値こそ、人間が歴史を刻み、そして人口が増えていけばいくほどの可能性として増えていくものだと感じている。

　　あの頃、「月に行こう」と思った人間が、何人いただろう？

その中で、財産や、人脈や、学術的な知識や、色々なことを持ち合わせている人間が実際に実行に移せたのだとするのならば、歴史とともに、もっとワンダフルで想像性の高いことを現実に実行できるに違いない。

　ただし、どうだろう。何かを「真新しいものだ」と感じる心がなければ、わくわくすることはきっと時代と思に衰退していってしまう。

人間にとって「大きな宇宙」だった宇宙も、今は身近な存在となってしまっているかもしれない。例え、人間にとって「小さな宇宙」となっても、やはり、人間は小さいことにでも「わくわくするもの」でいたほうが、これから先の毎日がきっと楽しくなると思う。